



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（28年2月号）

平成28年2月1日

暖冬かと思っていたら寒さが厳しくなってきました。春を待ちながら我慢の日々が続きそうですが、体を動かすことも大切。2月の活動のご案内です。

2月14日（日）午前9時～11時

高知駅前電停脇花壇「みんなの庭」の草引きと植え替え、南口駐車場西脇の植栽や北口駐輪場周りの手入れを行います。

午後3時～4時 帯屋町筋中央公園前でチラシ配りと葛岡さんのギターライブ。

3月の月例活動日は13日（日）、4月は17日（日）を予定しています。

トピックス

○1月24日（日）は今年一番の冷え込みに見舞われましたが、かじかむ手で「みんなの庭」の枯れた花を抜いて、季節の花苗を15株ほど入れました。

高知大学教育学部の女生徒さん2人が学内の掲示（「お知らせ」新年号）を見て初参加くださったのは嬉しい出来事でした。（右の写真）



○「お知らせ」新年号の記事「プラタナスが軒並み立枯れの危機」に対して読者お二人様から次のようなコメントをメールでいただきました。

★「3年程前に、3メートルほどに伸びた我が家のレッドロビン（紅カナメモチ）を思い切って1メートルほどに切ってもらったら、すべて枯れてしまった経験を持っています。急激な変化には植物も人も動物も耐えられるものではありません。毎日見ている土佐道路の街路樹に涙を誘われているのは私ばかりではないでしょう。」

★「街路樹剪定は適切に致さないといけませんね。どうも、高知ではこの適切がどうやら誤っているのかも。」



駅前緑化活動は篤志家のご厚志で維持されております。本年も引き続き皆様のお力添え（花苗提供、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata@ak.wakwak.com

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志」名義 普通 0709695

安倍総理を動かしたふつうの女性たち

— 新国立競技場ザハ案（別号宇宙船）白紙撤回までの22カ月 —



旧案＝ザハ案



新案＝隈研吾案



森まゆみさん

2020年オリンピックの東京開催が決まった翌月の2013年10月、仕事を持つ女性11人を共同代表とする市民有志の集まり「神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会」が東京都新宿区所在の東京ボランティアセンターの一室で結成されました。趣意書には「私たちは、明治天皇の葬儀をおこなった明治神宮外苑、それがスポーツのメッカとなり、神宮球場での学生野球、雨の学徒出陣壮行会、1964年の東京オリンピック、サッカー天皇杯など、この土地の持つ悲しい、あるいは楽しい記憶を大事に未来へ手わたしたいと考えています。そのために、いまある国立競技場を改修して使い続けることを望みます。広い空と緑の安らかな空間も、いったん失ってしまったら、2度と戻ってはこないのです。」とうたわれていました。しかし、そのときすでにJSC（日本スポーツ振興センター）は「ザハ・ハディド氏作品」による競技場建替えを決めていたのです。

爾来2年間にわたり、「未来へ手わたす会」はJSCはじめ関係筋への要望書や公開質問状の提出（回答が得られるのはマレでした）、勉強会、講演会、外苑でのキャンドル行進など、たゆまず働きかけを続けました。「継続は力なり」とは輪が広がっていくということ。財源のあてがないまま3000億円近い巨費を投入して巨大な構造物を作るという政府案への疑問が徐々に浸透、問題視する声が建築専門家（槇文彦氏、森山高至氏ほか）、スポーツ選手（有森裕子さんなど）、学会、政界、メディア、そして一般国民の間に燎原（りょうげん）の火のように燃え広がりました。

2015年7月、安倍総理が旧案の白紙撤回を表明。反対運動に賛同する国会議員の支援もあって「未来へ手わたす会」が切り札「国会請願」を行う寸前のことでした。

秋には改めて代案が公募され、年末、高知県でも梶原町の木造建築群設計などで知られる隈研吾氏の設計案（A案）が採用されたことはみなさまご承知のとおりです。

会のリーダーである森まゆみさん（1954年東京生まれ、早稲田大卒。出版社勤務などを経て「谷中・根津・千駄木」を発行、丁寧な聞き書きの手法で地域の記憶を記録として残す。作家としても活躍）は、日本経済新聞によるインタビューに答えて、

「公表された二つの案とも『杜のスタジアム』と銘打っていたのには驚きでした。この問題の経緯をつづった、わたしの近刊のタイトルが『森の中のスタジアム』。両案とも環境や景観への配慮を強く意識していますが、ほとんどこちらが言ってきたことですよ。・・・今度の計画はザハ案より100倍いい。でも建てなければ1万倍いい。」と語りかけています。（2015年12月26日付日本経済新聞夕刊）